

メソポーラス有機シリカを利用した分子・錯体反応場の構築

稲垣伸二博士(豊田中央研究所稲垣特別研究室室長・シニアフェロー)



2012年3月22日(木) 15:00-16:30

創成科学研究棟4階セミナー室B・C

<http://www.cat.hokudai.ac.jp/access.html>

有機系ナノ空間材料は、分子・錯体のもつ多様な機能を三次元的に組織化・連動できることから、光合成のような高度な反応場を構築する土台として大きな可能性を有する。ここでは、メソポーラス有機シリカを利用して、光捕集アンテナや反応中心などを連動させた人工光合成系の構築の試みを紹介する。

問合せ先：触媒化学研究センター・福岡淳 (fukuoka@cat.hokudai.ac.jp/011-706-9140)

略歴：1982年3月名古屋大学工学部卒業・1984年3月名古屋大学大学院工学研究科修士課程修了・1984年4月株式会社豊田中央研究所入社・1998年3月名古屋大学工学部から博士の学位授与・2009年2月株式会社豊田中央研究所シニアフェローに就任 主な賞歴, 学会活動：1993年触媒調製化学賞・2000年日本吸着学会奨励賞・2004年日本化学会学術賞・2005年文部科学大臣表彰科学技術賞研究部門・2008年日本吸着学会学術賞 研究分野またはキーワード：メソポーラス, 触媒, 吸着, 光化学

